

大猗盛典

九十七

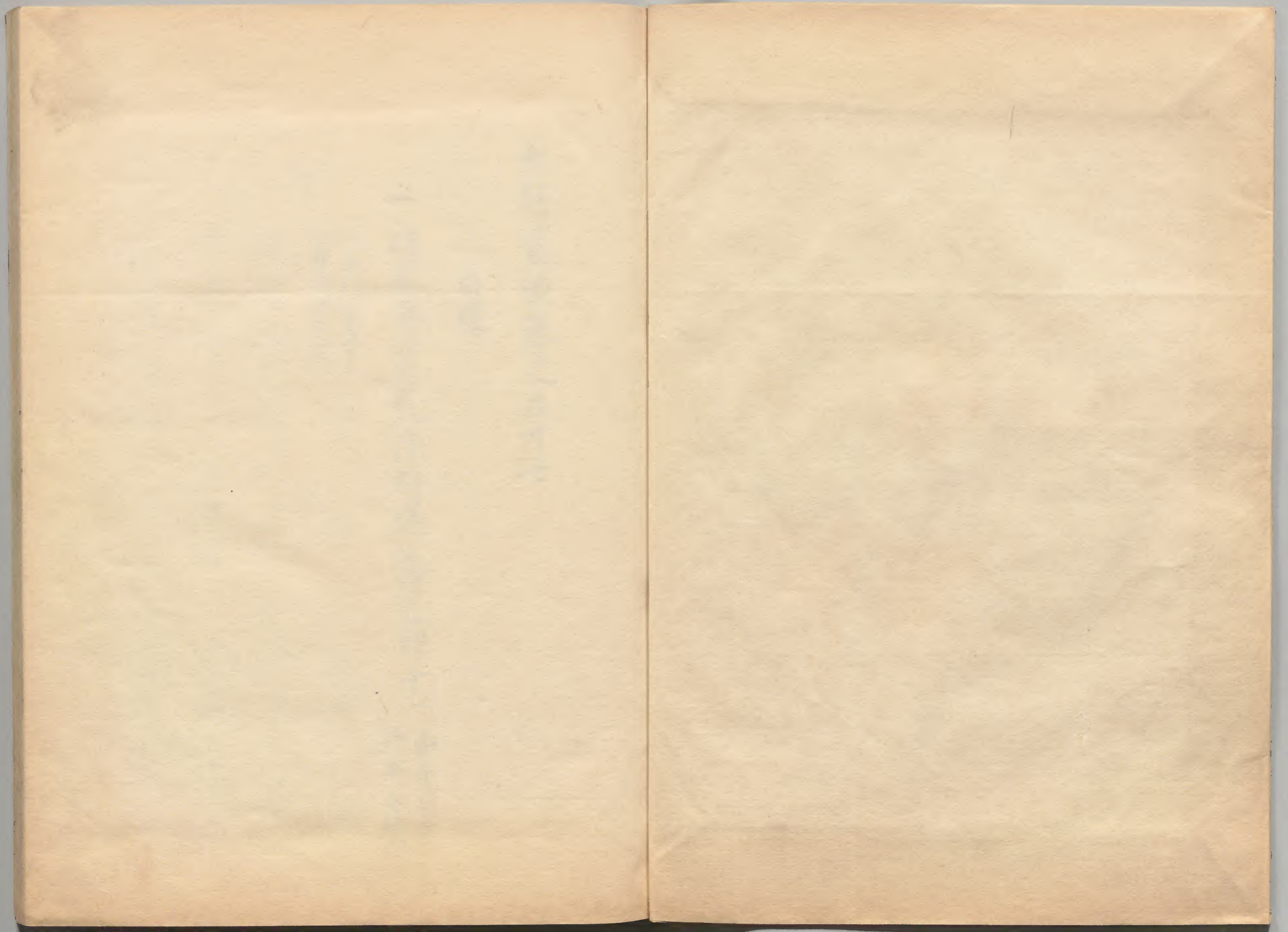
和書門	
二七八八二號	類
八五函	
二架	
一九九冊	

内閣文庫	
二七八八二號	和書類
一九九冊	
八五函	
五三架	

内閣文庫	
番號	和 27882
冊數	199 (99)
函號	153 225



糊等で貼り付けられている部分がめくれない箇所あり



大狩盛典卷之九十七

目錄

一 騎馬拵子其外沙狩場心得之部十一

如永方中
所右方騎馬

兼歩行拵子三
以番勤方之三

大將盛典卷之九十七



騎馬勢子其外侍狩場心得之部十一

淺草文庫

○嘉永元戊申年四月廿三日廻状

今日拙者共致書 城山寺於羽目之間阿部

伊勢守殿出書大忌之指以殿付有る有書

額に江成出渡の書有る通字別紙書付申右

出書有る統に出の紙取元紙中各共力同公

出落より一紙作渡有る

四月廿二日

加茂伊豫守

園播磨守

逸見甲斐守

別紙

見玉

西番頭口

一組之之儀立可也

但儀火事之儀若場口有持儀者持

了也

一組額中書院方共力同心其外共奉

人多之等一少得三右連以候了也

山小姓組 七組

山書院番 七組

右番番明々番共一組五人宛七拾人返馳騎

馬可相勤也

但六人番取組立除之

右返馳騎馬可勤其後山右左等頭之

手所了也

一 大正書院組より一組五人宛在右迄御騎馬
 相勤の旨得甚念す其後不且又右迄御騎馬
 へ世信出月付に後番致し一少為す其旨を
 一 些力同く先達より細く外此旨を達せし
 二 後、之迄了りて此細際より相勤旨信
 旨も古く通りす可お心得此些力同く竹杖
 打系了也

山書院
組留書

但些力す有合し御歳と念せ了り同く
 改分渡在り改御歳と念せを股訂号有来
 へと用ひ了也

○大正永元戊申年十月

馳騎馬勤方心得

一 山書院番取三人山小性組番取二人但此番方
 二 拾騎宛可相勤也

但右外三組より二騎宛拍子本打の者

各公の事

一 所在は徒方立切と来は書院の方 所立場

方立二の二組合より二の二組合一の二組合三

約三立 所右と方立網末の二小性組右四の

向合三約三立の治と改と纏先三立備在

の事

一 所成若山番方八組と徒方七場所順杭附

相括在番隊組隊を立場入口より所自見

仕所馬の事 苗 所巡見は行列の供立

車石内馬と仕追強騎馬の案切の後案出の二小

性組番隊組隊を 所右と方立馬扱の事後

所立場後の立場は所越は書院番隊組隊の

所立場少の方立通立場は所越各徒方

場所は所越組中の各隊備立の徒方

一 廉出の拍子の事 所立場より相易白布

空浩前より二千騎より三千騎以入移座突
苗下り山出網口逐浩空浩の曲入合を

淨立場より方先口空浩空苗下り山是隨口
出網口方八付方より恰好不構出網口空浩
空苗下り山逐浩空浩空苗下り山書院方
山中性起方三行の成左右口別事空速速
根双方是合口空場空在又廉入牙口和
子空骨何通も右へ通り進退お働座空

苗下り山出網口半も廉入牙口の空所
高空合又進浩空苗下り山空後白布出和
左輪之振り奥向働方との後与心の矢張
如以空出網口押浩働空不仕廉不後和一統
空浩空在空空浩の内も奥向空苗下り空
一 出馬空空白空貫白布空下空馬空先口
和空骨出網口空是後空空空場空和空在空
若出網内空空出空在空空空空空空空場

扣之在左の所出馬の内麻入来の指子之寄
此名象次身此馬此道通之白布一文字振可
中込時此指馬目下之魔止此指此細内口
静之象治下之先後白布幅振下之是と見え
文の其文之象留立切之在左の先後又白布一
文字振の又静之象治又白布幅振の其文之
象留下之何遍も同指相心の先後白布白
吹貫二本一折之文字振の立場に引取下之

左右一編之限りの候之等之指子次身何
遍も此相寄方之候方同形にお公の
所立場口之為入のゆゑ白吹貫白布中
所立場之候方は此指子之候候の又之等
之通心之麻出の指子次身何遍も此指留
下之候

一 所場此用お候此左右方之候之面之此折之
取沙の候中と一折にお集下之候

一騎馬芝行三初崩迄不中ふ番既麾と物
ゆる山番方及引い〜〜中い半

右之通何相麻い旨山納戸既取中候い志不
款合い候も有〜いり物者共い山同合〜成い
候〜山候山連下い〜

十月

遠山半左衛門
石台候之坐

山書院組留書山性
組留書山使番留書

○嘉永二己酉年二月晦日旦状

小金山麻持之旨山候〜組既瀬名源五郎及合
候山書面之修撰り山月舟遠山半左衛門石台
候之座山別紙之通り同合書申連迄山合右
書面上下之札と以申連い旨山知字別紙
申上り

加賀 伊藤守

関 播磨守

正月晦日

逸見甲斐守

別紙

騎馬掛
西番額

小金山麻栲之旨此供養於此場惣子相勤
還所之旨此供仕之者之一日不構並と洩れ
此供之場は重相廻て蘇左旨定政方此目
付元速相見下ふは方も右と通り此方は
諸組より此供之蘇出此番方 還所以不

組之並と洩之新に集り居り相仕度有
還所之旨掛の急速諸組之内通連絡
集り居る中々急に届中分其之迄
竹柄透等も此目方方此方此供速場強
越へ候と此存の旨以出場候以不是計
此供之者之不殘並と洩之新に此集り相
仕り此方又之候も此方此方此組之旨供
蘇出此番元右と通並る此作洩並之下

別紙

騎馬掛り

為番頭

小金山麻村之言口紐取此番元の内各掛り病馬
 且落馬等之を取放し之言口連之取押合の格別
 第一老く放走の方取知不中言口之格別
 之所止結裁歩行勢子中加之為働不
 中貳

一 拙者共之病馬等之候も許行合山左
 場口各並合も急速之旨合兼以之書付
 場之通此場所止為幸以候い申之候
 右之類及此向合山言口下之礼之取承知度
 也

四月

若下ケ礼

書面之通之可成合之

騎馬掛り

為番頭

○西三月十三日巳午

小金 所成之言紙中近至心得方若途中從途
少茶場内心切方より兼る此相談之通別紙一通
相成中心紙より後出給て不長作後与好小

加茂 伊豫守

岡 播磨守

逸見 甲斐守

二月十二日

別紙

小金京 所成之言紙中心得書

一 駮騎馬歩行勢子之元也 所法令之紙
其外此書付若兼る古書之通り送矣之
根後之抄也之中心事

一 忌服其外兼る抄在正不通り之紙心切事
一 病氣等より兼押し之相勤紙句論之事
得共第一紙相勤也より成文之紙出於此場
所成之中心事

一 此書元禁出版方之紙書以家来不抄後

了りし方給々事本官繼持系川務法取了
中々

一 組頭馬於出場受支いそき番改替馬誰
用立了りし事

一 出番元馬口附柏子本役者法取了り事

一 小金口孫越組之内より出番元残り者
有しりり白戸残り組中出番お立ち合お
了りし事

一 出場お海門取之出番改組頭松戸宛より
務手次第退散し事

但出番元退散し候於因所了り連中

一 改組改組中共腰弁当宅より了り取用立
し事

一 出番元出番元候出場門取掛し是
大是之候に
孫越了りし事

一 出番場口お採りりし組限
採書
事

一 改之山登石孫越以之相互二年丙家本也以下
通公事

一 紀之山番元俄於等之而不年以之其出版之不
年之句可法元並之下積之公事

山書院
組苗書

○ 嘉永元戊申年三月

小金山番物之旨
孫騎馬孫出姓名

山書院方

駢騎馬孫出姓名

透見甲斐之組

拍子本役

一尾岩之丞

拍子本役

弓本左京

尾林鉄右郎

極村常刀

水野敬右郎

筒井治左衛門

久保寛之丞

長孫岩左郎

荒川秋次郎

松井弁左郎

早合孫左郎

内後十郎玄清

小出玄庫

小出靱負

町野鎗次郎

石原勇之助

大河内若左郎

武田忠三郎

井出八左郎

久保田經左郎

竹中熊三

玉田為三郎

岡田磨子組

柏子本段

松平左門

柏子本段

柴田吾一郎

荒木十九郎

仁賀保内記

川橋新藏

本田今五郎

堀 數馬

池田大守

赤井後右郎

窪田茂六郎

須後宗左郎

成瀬安次郎

石黒健三郎

新庄後十郎

建部六右衛門

今井 常刀

平島 清次右衛門

森川 祐五郎

内後 金三左衛門

本村 新五郎

中島 三左衛門

松平 順三助

加賀 伊豫守組

拍子本役

小沢 牛右衛門

拍子本役

古川 栄三左衛門

大島 織部

宮城 源五郎

倉橋 内通

中島 百助

永井 貞計

朱書
歩行の方殿

有田忠三郎

依田小源右

柳沃左左郎

朱書
歩行の方成

山本礦了助

山田猪右郎

仁賀保左助

松平左九郎

朝比奈金五郎

安彦平七郎

勝田段次郎

朱書
歩行の方成

戸塚厚之進

神田五郎次郎

辻重玄侍

齋川八郎

郊台

拍子本没芸六拾六人

右之通也所公望

正月

飯沼 祐吉

溝口 美吉郎

渡邊 為三郎

土屋 三郎右衛門

市書院方

小金山康村之吉
步行梅子莊公姓名

市書院方

步行梅子莊公姓名

逸見甲斐守組

内 後 源 助

若田 五右衛門

毛 受 貫 一 郎

羽 左 傳 十 郎

諏訪 玄助
土屋 猪四郎
服屋 玄右衛門
柘植 源右郎
西郷 市右衛門
飯田 玄孫
中島 吾之郎
窪田 源義

關播磨守組

井戸 新十郎
大井 猪次郎
松平 玄之助
服部 玄之郎
服部 劉次郎
石卷 七郎右衛門
細井 九助

贊 旨之丞

高木林之助

曲 岡 依 次 郎

河 之 山 清 十 郎

蜂 屋 半 次 郎

細 井 八 左 衛 門

酒 依 清 左 衛 門

吉 本 九 三 郎

飯 室 左 衛 門

森 川 隆 之 助

橋 本 巳 三 郎

松 原 市 左 衛 門

坪 内 本 工 之 助

堀 長 左 衛 門

岡 井 鉄 之 丞

梶 川 長 十 郎

松平徳次郎

大徳政之助

谷 五計

別所孫之丞

秋山伊左衛門

富田徳之助

島 後五郎

加茂伊豫守組

大忌 鞆 負

松平 芳 他

安後 長 左衛門

系原 勘 之助

素原 昌 左衛門

西郷 孫 之助

佐野 孝 右衛門

大忌 守 之助

渡邊清左郎

永井貞計

橋本玄右衛門

伊丹清五郎

一尾 金吾

宮崎雄三郎

花房勘右衛門

小笠原久之清

野沢八三郎

久保徳左郎

勝田得次郎

柳沢左三郎

山村 教馬

津金助之進

川崎辰之助

志野依左郎

筒井清次郎

宝賀及化字組

岩瀬市三郎

河野長十郎

坪内常刀

河野一郎右衛門

西尾小左衛門

西尾寛一郎

大竹源右郎

三宅左三郎

下小三郎左衛門

中島弥右衛門

松浦昌次郎

廣戸三郎

柴田七左衛門

横田五郎左郎

安部式部

素山徳之丞

瀬名孫次郎

松平孫之丞

畠田左近

戸田金之郎

志野助十郎

鈴木三之助

稻葉左衛門

伏見忠四郎

小宮山義徳次

井戸碯五郎

大久保十之郎

牧村仁十郎

岩波沖右衛門

久留孫一

箕五右衛門

若田左衛門

中沢雄之助

源防親貞

松平監物

部筑源七郎

古山昌之進

守屋後右郎

極山豊藏

秘後内院改組

小林添玄清

遠山八十郎

金森彦四郎

柳京百之助

鈴木九次郎

大久保九郎之助

永井之水
源防常刀
小栗友進
三田八郎三郎
枚屋斧藏
安部又三郎
加後龍三郎
奥山重右郎

宇部野貞三郎
池田善之助
枚田鉄右郎
通後平格
田中佐十郎
伴友斧作
伴宗五郎八郎
佐々田三郎

栗山祐之丞
中野内記
日下部岩右郎
奥津清之郎
吉江波之丞
天野秩次郎
逸見長次郎
松浦庄玄清

酒井八左衛門
石野金之助
小笠原篤之郎
本多係之助
竹村敬之郎
酒井平三郎
永田郷右衛門
月後谷右郎

秋田系族之郎

秋田族諸名組

土方半之郎

中條鉄之郎

小栗伊右衛門

布施孫玄清

芥川吾之丞

松崎七郎次郎

石川大膳

松平源方丈

河野左衛門

青山右衛門

新庄茂之助

多田金右衛門

間宮兵衛

古田孫次郎

三枝傳左衛門

織田賢之助

竹本孫十郎

松平友之助

淺井新五郎

松田八右衛門

荒井重三郎

堀田録之助

大道寺内務助

河尻世平

本向徳五郎

村上友之助

三尾連之助

京極半十郎

本目金之助

松平驛之丞

林元忠右衛門

妻田猪之助

本多入年人

山平徳五郎

伏屋之馬

野間謙之助

本村金五郎

三島山左郎

荒川吉十郎

多賀玄右衛門

森川神四郎

三好内膳助

金田小膳

清野半右衛門

本多流之助

品川鉄右郎

朱書
付入教書場

都合百六拾八人

右之通正座以下

二月

淨書院方

朱書

世人教人相坊分酉三月在書出凡別帳在

○嘉永元戊申年

組頭代姓名

淨書院方

逸見甲斐守組形

病氣有彩

早川十右衛門

代り同組判形書

内及平十郎

右山麻持之旨騎馬相勤ル依ル正ル中ル

以上

逸見甲斐守

加茂伊豫守

園 播磨守

十二月十一日

淨書院
組留書

○嘉永二元酉年二月十七日

加茂伊豫守
園 播磨守

別紙

近江騎馬孫出右姓名

出雲子加賀守組

高田介次郎

奥村健三助

篠山善十郎

金田惣八郎

保之彦助

大之保岡備守組

山崎岩左郎

白

大谷良左郎

松下大之丞

胡比奈集人

山本八十八

室賀多能守組

服部辨之丞

河野四郎

曾我又左衛門

田村仙左郎

系淡安布交

近後金之座

伊後内務次郎

大久保宗次郎

小宮山次郎

白黒布交

後懸徳次郎

駒井禎之助

奥村長義

酒井肥前守組

長谷川平三郎

岩田左五郎

白糸布交

伊後内務助

京極雄右郎

中川監物

秋田浪路守組

加々丸義三郎

菅沼右近

鈴木健義

黄色

前田八郎左衛門

小栗劉右郎

後出羽守組

三枝貞五郎

本多内務助

白地赤礼星

永越兵庫

織田熊三郎

堀金次郎

那合三拾五人

○嘉永二己酉年三月十五日巳狀

秋田淡路守及出組歩行勢子姓名之月異同

有伊豫守組並騎馬歩行勢子姓名之月
異同有之
室賀守及此方同心姓名之月
異同有之
此方同心今期撤出
自月并打連品
右方禁出一級下
遣人教之
言致相違且受
他方及家来伊豫守
家来右方相違致
一公言
打替下
遣打連下
公信
一打書
字八通
下遣字
打回下

加及伊豫守

三月十五日

関 播磨守

逸見甲斐守

別紙

又知一

遠山守左衛門右
石谷孫三郎友

加茂伊豫守

先達与出達中並石強騎馬姓名之内并朱引
勢子姓名之内又因有之且因以借人数帳面
之内異同有之此等別紙之通出在中心以上

三月十五日

加茂伊豫守

別紙

又知一

強騎馬又因之分

此麻指強騎馬姓名之内

加茂伊豫守組

柳沢左衛門

柳沢左衛門病氣付
代り

山田猪右衛門

右之通是出中心強騎馬姓名之内左衛門名順

之書院也德也並了之以下

二月十五日

也書院方

別紙

又出

歩行勢子異同

也麻將歩行勢子姓名之同

加茂伊豫守組

山田猪左郎

右近騎馬之方自及出以男名示也除了以下

以上

日人組

安部利勝

秋田淡路守組

高橋金左衛門

古田謙次郎

松平後之助

本村金五郎

右病氣甚痛所之身強強出以男名示也除了

以下

悪人数々書

都合百八拾式人

右先達より出せる中山姓名書之月夜相違ひの事
並に其下より

二月十五日

出書院方

○同月同日也

去月十日以出書院得此中山通延騎馬并安行等
出書院矣因有是出後之方其作紙の字取個姓名
書折平也扣去口通り出此姓經方中合出掛大忌
之暇心殿上致進在の條之織原進在書字列

紙書包下

二月十五日

加茂伊豫守

岡 播磨守

逸見甲斐守

別紙

見出

延騎馬姓名異同之條上之事の書付

出書院書院

出書院番

加茂伊豫守組

柳沢左左郎

柳沢左左郎領分
代り

山田猪右郎

右之通姓名矣因仕分有強騎馬姓名書折奉
此和去式通進至仕分此後中上公以之

三月十五日

山書院方

別紙

見知一

步行梅子姓名矣因仕分中上公書分

山書院方

山書院書

加茂伊豫守組

山田猪右郎

右強騎馬方口受出中上

目人組

安部判務

西丸山書院書

林田渡路守組

多目右全左衛門

古田謙左郎

松平後三郎

木村金五郎

右之人病氣二分其公不也

右之通姓名矣同仕分年仍勢子姓名書於本

此扣去武通進連仕公氏後中上公以三

三月十五日

此書院方

此書院紙

留書

○嘉永元戊申年三月

小金正麻持之常孫公
此乃同心姓名書

逸見甲斐方無方

榎村金平

三宅幸三郎

生島長四郎

金井歳左郎

岩淵栄三郎

兼原瀨玄清

西川穰一

長野朝次郎

同人同心

内後穰八郎

長保勝五郎

東條卯之助

井上伊之助

加茂源三郎

安茂兵十郎

内後春三郎

小田穰三郎

古屋洙五郎

須貝和共

近江久義

兼島源五郎

後懸金之丞

大之上市之郎

本村 戈助

高瀬清次郎

松并新之郎

大村孝之丞

國播磨守此方

片倉赤市右衛門

小山治一郎

鈴木源次郎

胡是傳右衛門

本多源四郎

石川三之丞

本村邦三郎

須後音三郎

同人同心

中村茂八

松塚忠右衛門

松野甚三郎

相原安三郎

中村茂平次

迫後半藏

大澤利三郎

中村秩三郎

古川政次郎

中野遼三郎

加後栄五郎

後波房次郎

本目三次郎

古川秩三郎

水上男吉

松本龜次郎

川出金三助

網代稻吉

加茂伊豫守兵衛

三木茂九郎

河野外一郎

谷熊次郎

池田力哉

中村謙三助

足立流三郎

柳原市之丞

廣瀬教次郎

同人同心

大庭寛多清

宮塚加三清

立沢勝三郎

川田崇三助

富永常右衛門

斎馬谷三郎

加茂昌八郎

言本昌次郎

松波丞左郎

大久保三之助

高藤雄吉

淺野駒次郎

大石清右衛門

高田重次郎

山田豊三郎

大日方惣八

川瀬惣七

佐々誠三郎

宝賀及他当所

佐々覺之進

今村官藏
安江十五郎
山内户一郎
由利良助
永塚縫藏
大久保半左衛門
水野八百左郎

同人恩

田村莊左衛門
加村清左衛門
鈴木雄右衛門
村松伴八
若田泰助
岡岩次郎
本郷甚十郎
神谷啓三郎

雨宮靜之助
源田辰五郎
原田市翁
水野政一郎
赤坂隼六
佐後龜之進
森田友翁
田村根四郎

田村七左郎
原 悋 助
鈴木安一郎
赤坂内翁改其方

小菅俊十郎
佐久間左次郎
小菅五郎左衛門
小沢徳之丞

高橋柳次郎

一色名三郎

高木八十五郎

仁井田為次郎

荒輪貞四

荒輪一郎

日人同心

日下部八左衛門

鈴木紫十郎

出口欽平

辻久吉郎

水谷亮菴

林平菴

三田雄作

伊庭友次郎

阪部金三郎

大工原平之郎

山中篤右郎

若野銀河郎

永島禮之丞

日下豹也次郎

山崎源玄侍

冷本長右郎

遠山玄次郎

栗井兼五郎

秋田清路守兼刀

山下添平右

冷本權十郎

松本重右衛門

屋代东左衛門

牧均三郎

武光孫之丞

鈴木嘉一郎

尾代谷五郎

松原勝三郎

江里川助吉郎

同人同心

近後八左衛門

友部久左郎

小川源三郎

江森 又藏

高橋 鉄三郎

近後呂左郎

奈良部兼七

中山益次郎

篠崎 治助

尾本貞次郎

中山半次郎

都合

共力五十二人

岩下忠之助

島村忠右衛門

安後右三郎

茂木丞之助

小川礎一郎

少林喜五郎

同心百十人

右通西村公以三

十二月

古書院方

古書院
組笛書

○嘉永二己酉年三月十五日

別紙

又出

遠山半右衛門及
石谷鉄三郎及

加後伊豫守

先達より申達中並に此方同心姓名之内異因あり
且竹杖負教書之内是又矣因之之致相違ひあり
別紙或通申達中似し

三月十五日

此書院方

別紙

見如し

同心姓名矣因

此方同心姓名之内異因

此書院書院

宣賀矣此方同心

田村七五郎

右此方明屋浦番伊賀者に
作付公名在るに除
可也少い

三月十五日

此書院方



此書院組印書

以上竹右之方騎馬兼歩行勝子三山番勤方之三

